

借金苦からの脱出

ルポ 奨学金が奪った人生
住宅ローン救う「任意売却」

籠池劇場と昭恵夫人
亀梨和也「アイドル論」

AERA

昭和63年6月10日第3種郵便物認可
2017年4月3日発行
毎週月曜日発行(3月27日発売)
通巻1615号

'17.4.3

No.16

定価 390円

アエラ

俳優・歌手

亀梨和也

借金苦からの脱出

〔大特集〕

トランプ・タワーに暮らした日本人

入居の条件は預金3億円

ドナルド・トランプ米大統領がニューヨークに所有するトランプ・タワー。トランプ氏の成功の象徴とも言われるあのビルに、暮らした日本人がいる。

トランプ・タワーは米ニューヨーク・マンハッタンの5番街にそびえる高さ202メートルの超高層商業ビル。上層階には世界的セレブが数多く暮らすとされ、家賃は月額700万円ともささやかれる。だが、その実態はあまり知られていない。

ビューティープロデューサーのアケミ・S・ミラーさんは、トランプ・タワーに暮らした数少ない日本人だ。

1980年代、モデル学校の経営やきもののデザイナーとして成功。89年に渡米し、90年にニューヨークコレクションにデビューした。そして94年、後に夫となる弁護士の米国人男性と共にトランプ・タワーで暮らし始めた。「成功したらトランプ・タワーに住みたい」と言っていた彼に不幸な出来事が続き、元気づけたいと思ったという。

トランプ氏は儉約家

「不動産会社から高層階に空きがある」と知らされ、マンハッタンの地形が見渡せる絶景に魅了されました。入居の交渉をする

には、プライベートバンクに3ミリオン(約3億円)以上の預金が必要でした。何とか彼を喜ばせたくて、入居を決めました」隣にはジャネット・ジャクソン、もう片方の隣にはサラ・ブライトマンが住んでいた。「家賃は700万円もしませんよ。数百万円くらい(笑)。私

の部屋は200平方メートルほどの2LDKで、バス・トイレが二つ、ゲスト用のパウダールームが一つ。ドアや柱の梁、サッシなどはゴールドで、窓が開けられない代わりに24時間マイナスイオンが出る仕様でした」最上階の3フロアには、トランプ氏自身が家族と共に住んで



アケミ・S・ミラーさんは2015年、大阪に「AKEMI S. MILLER Beauty Studio」を設立。「トランプ・タワーで接したセレブたちのライフスタイルや美への意識は、私に大きな刺激を与えてくれました」と話す



マンハッタンのど真ん中にそびえるトランプ・タワー。隣接するティファニー本店は2016年末、嚴重な警備のせいで売り上げが落ちたという

1度のミスでクビに

後にアケミさんは、あのマイケル・ジャクソンの私服をデザインすることになるのだが、マイケルとの出会いもトランプ・タワーだったという。「居住者用エレベーターは4基ある夜、仕事から戻るとエレベーター前に行列ができていた。一番奥のエレベーター前で親しいボーイが「乗る?」と聞いて

いた。「あいさつ程度の関係でしたが、意外と儉約家。居住者専用入り口には高級リムジンがズラッと並ぶのですが、ある朝、古いキヤデラックみたいなリムジンが止まっていた。色もくすんでいて、誰が乗るんだろう、と思っていたら、「ハイイ」とトランプ氏が乗り込んでいったのでびっくりしました(笑)。何度か同じ場面を見ましたが、パーティーには豪華なストレッチリムジンで出かけていたので、使い分けていたのでしょうかね」

きたのでラッキースト飛び乗ると、そこにマイケルがいました」最近の仕事のことなどをボーイと話して降りた数分後、そのボーイが部屋に来て、マイケルがアケミさんの話に興味を持ち、彼女のデザインした洋服が見たいと言っている、と告げられた。プレス資料を渡したところ、2週間後には「シャツを作ってみてほしい」と頼まれた。「それから2年間くらいかな、マイケルのプライベートの洋服を作るようになったんです」トランプ・タワーに約3年暮らした後、ウエストサイドのトランプ・ブレイスに移り、そこで約14年を過ごした。夫と死別し2013年に帰国後は、大阪府にスタジオを設立し、日本人だけでなくアジアの女性が世界に通用する「美」を磨くための指導に力を入れている。

「トランプ氏は、トランプ・ブレイスにビルを建てるのに10年くらい裁判をしています。不利な側面もあったと思いますが妥協せず、勝訴した。彼はやると決めたなら絶対に折れない。人にもすごく厳しい。私が住んでいたときも、10年間勤めたセキユリティーが1度のミスでクビにされたことがあります。その実行力が、悪い方向に働かないことを祈りたいですね」

編集部 作田裕史